

令和5(2023)年度

高等学校における教科指導充実に関する調査研究



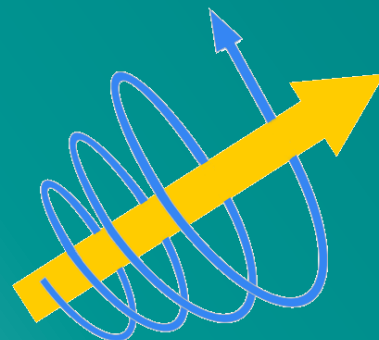
教科における探究的な学習の充実

～新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指して～

理論編



「探究活動のモデル図」



青色矢印で示す探究のプロセスを経て、黄色矢印で示す資質・能力が育まれる様子を図示したもの。

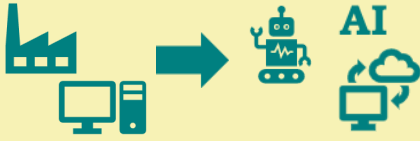
栃木県総合教育センター 研究調査部

令和6(2024)年 1月発行



なぜ「探究」が注目されているのでしょうか？

社会が急速に変化する中で、求められる資質・能力とは？



自ら課題を発見し解決する力、多様な他者と協働して解決する力などが求められます。



そこで・・・問題解決的な学習が発展的に繰り返される探究的な活動が重要視されるようになりました。



探究的な学習のプロセスを重視！

● 学びの過程（習得・活用・探究）を充実させる授業改善によって、学びの質を高めていくことが重視されています。特に「探究」は、どの科目においても重要なキーワードの一つとして取り上げられています。



● 「探究」と付された教科・科目等が新設されました。
「総合的な探究の時間」「古典探究」
「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」
「理数探究基礎」「理数探究」
● 「探究」の名称が付されていない教科・科目等についても、それぞれの内容項目に応じて、探究的な活動を取り入れることが求められています。



「総合的な探究の時間」と「教科における探究」の違いとは？

- 「総合的な探究の時間」における探究とは？
 - ・学習の対象や領域は、特定の教科・科目等に留まらない横断的・総合的な学びとする。
 - ・複数の教科・科目等における見方・考え方を総合的・統合的に働かせて探究する。
 - ・解決の道筋がすぐに明らかにならない課題や、唯一の正解が存在しない課題に対して、最適解や納得解を見いだすことを重視する。
- 「古典探究」「地理探究」「日本史探究」「世界史探究」における探究とは？
 - ・当該教科・科目における理解をより深めることを目的とし、教科の内容項目に応じた課題に沿って探究的な学習を行う。
- 「探究」の名称が付されていない教科・科目等における探究とは？
 - ・各教科・科目等の内容項目に応じた探究的な学習を行う。



※学習指導要領に示されている「探究」の名称が付されていない教科・科目等における探究的な学習の例

〔国語科(論理国語)〕

関心をもった事柄について様々な資料を調べ、集めた情報を整理し、仮説を設定したり推論したりするなどして自分の考えを形成し、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする。

〔保健体育科(体育)〕

ダンスについて、生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。

〔工業科(工業情報数理)〕

工業の事象の数理処理のモデル化に着目して、プログラミングと工業に関する事象の数理処理に関する課題を見だし、解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証し改善する。



「各教科等」と「総合的な探究の時間」の関係とは？

「各教科・科目等」の学習と「総合的な探究の時間」の横断的な学習を往還させることによって、社会で生きて働く資質・能力の育成を目指します。その際、それぞれの取組や内容を照らし合わせ、連携する部分や実施する時期等について検討するなどカリキュラム・マネジメントの視点が重要です。

例)

- ・国語でレポートの書き方を学び、そこで身に付けた力が総合的な探究の時間で活用・発揮される。
- ・総合的な探究の時間でプレゼンテーションを通して身に付けた力が、各教科等の学習活動においても活用・発揮される。



社会で求められる資質・能力

「総合的な探究の時間」

各教科・科目等の学びを通じて身に付けた見方・考え方を働かせる横断的な学び。

学びの往還

「各教科・科目等」

各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を働かせる学び。

教科における探究的な学習のデザインとは？

《 探究的な学習のデザインの例 》

① 探究的な学習を重点的に行う単元を、年間計画のどこに位置付けるかを決定する。

例) 各学期で身に付けた資質・能力を活用・発揮した探究的な学習ができるようにするために、各学期の節目に設定する。

② 単元の目標と評価規準を作成する。

③ 単元の指導と評価の計画を作成する。

例) 単元全体を探究的な学習にする、または、単元の一部を探究的な学習するなど計画する。

④ 総合的な探究の時間の探究の過程を参考にして、具体的な展開を計画する。



課題の設定

情報収集

整理・分析

まとめ・表現

上記のような学習の過程をデザインする上で、生徒の実態に応じて以下のような活動を追加したり、工夫したりすることも考えられる。

- ・課題設定前に導入の場面(体験活動、資料の読解)を設定する。
- ・教師が作成した「問いの立て方」「情報の集め方」「資料のまとめ方」等を含んだ学習の手引き(ガイダンスプリント)などを活用しながら探究的な学習を進める場面を設定する。
- ・活動の中で不十分などところがないか中間評価を行い、知識の習得が十分でない場合には、学び直す時間や学びを再構築する場面を設定する。
- ・探究の過程の中に振り返りの時間を適宜設けて、次の学びにつなげる場面を設定する。

授業デザインの際には、『学習指導要領解説』や『指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料』も参考にしましょう。

探究的な学習の授業をデザインするためのワークシートを作成しました。

右のQRコードから栃木県総合教育センターWebサイトをご覧ください。





探究的な学習を充実させるためのポイント

探究的な学習をより充実させるためには、主体的・協働的な学びを取り入れた学習活動にすることが大切です。以下に、主体的・協働的な学びの視点を取り入れた、探究的な学習を行う場面の例を示しました。授業をデザインする際に参考にしてください。

課題の設定の場面

- 学んだ知識を活用して、課題を自ら設定(選択)したり、グループで話し合ったりして設定(選択)する。
- 課題解決や創作表現に必要な学習の計画を自ら設定したり、グループで話し合ったりして設定する。

情報収集の場面

- 課題解決のための情報を集めるために、観察、実験、見学、調査、探索、追体験などを自ら進めたり、グループで役割分担したりして進める。

整理・分析の場面

- 得られた情報や資料、データに基づいて、自ら分析したり、グループで話し合いながら多面的・多角的に分析したりする。

まとめ・表現の場面

- 課題解決のための成果を整理・要約して、他者に自分の言葉で分かりやすく伝えたり、自分自身の考えとしてまとめたりする。
- 考察した結果などをグループ間で共有して互いの学びを深め合う。

振り返りの場面

- 多面的な自己評価をするとともに、互いの学びを高める相互評価を行う。
- 学習の成果と今後の課題を明らかにし、自らの学びを意味付けたり、価値付けたりする。



探究的な学習の評価におけるルーブリックの活用

《 ルーブリック活用の利点 》

- ・ペーパーテストでは評価しにくい資質・能力を評価をするときに、ルーブリックがあることで判断基準が明確になります。
- ・ルーブリックを生徒たちに学習前に提示することで、学習に対する見通しをもたせることができます。
- ・ルーブリックを振り返りや自己評価、相互評価の場面で活用することで、教師の授業改善及び、生徒自らの学習改善に活かすことができます。
- ・学習状況を評価する際に教師間の評価のばらつきを防ぐ意味でもルーブリックは有効です。

《 ルーブリック作成のポイント 》

- ・ルーブリックは、評価規準をレベル別に整理した判断基準の一覧表です。学習指導要領に示された教科・科目等の目標を基に作成します。

	観点①	観点②	観点③
レベルA	…	…	…
レベルB	…	…	…
レベルC	…	…	…

- ・判断基準には、「～を表現している」など、生徒が発揮した能力の具体的な事実を記述する。
- ・判断基準の記述内容は、各観点の中で一貫性があるようにする。
- ・生徒が自己評価、相互評価などに使う場合には、分かりやすい表現にする。
- ・評価結果を基に、継続的に改善と修正を行う。

探究的な学習 FAQ

Q 探究的な学習を行うにあたり、どのように計画を立てればよいですか？

A 年間計画や単元計画を立てる際に、各教科・科目等の目標や内容と照らし合わせて、探究的な学習を行う重点的な単元を決めて実施することが考えられます。

Q 探究的な学習を充実させるために、普段の授業でできることはありますか？

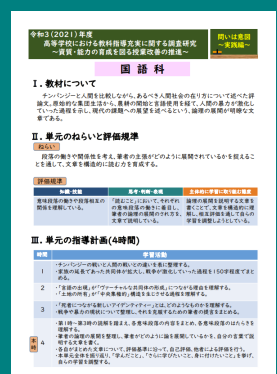
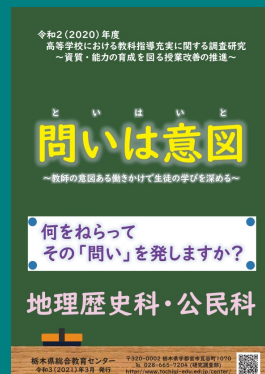
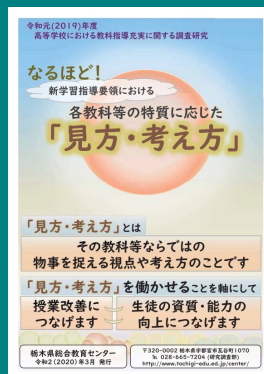
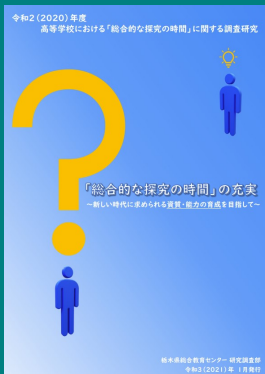
A 普段の授業においても、場面設定や問いかけを工夫することが考えられます。例えば、問いかけを工夫して、生徒が「なぜだろう」「どうすれば解決できるだろう」と考えるような場面を設定することで、探究的な学習につなげることができます。

Q 総合的な探究の時間と教科の取組をつなげるためにはどうすればよいですか？

A 学校教育を通して育成を目指す資質・能力を教師間で共有した上で、総合的な探究の時間や各教科等の学習を通じて育成する資質・能力が、全体のどの部分を担っているかを明確にするなど、カリキュラム・マネジメントの視点で議論を重ねることが有効です。

資料の紹介

探究的な学習を充実させるために以下の資料も併せてご覧ください。
いずれの資料も栃木県総合教育センターWebサイトで閲覧及びダウンロードできます。



「総合的な探究の時間」に関する資料

「各教科・科目等」に関する資料

【問合せ先】 栃木県総合教育センター 研究調査部
〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070 TEL 028(665)7204